

幸福実現NEWS

THE HAPPINESS REALIZATION NEWS [党員限定版] 第44号



大川隆法総裁が読み解く 東アジア情勢

北朝鮮の金正恩第一書記がミサイル発射をちらつかせ、国際社会を翻弄するなか、大川隆法総裁は4月16日、「守護霊インタビュー 金正恩の本心直撃!」と題して公開霊言を収録。霊言を受け、大川総裁は日本防衛のためのミサイル保有や、道州制の危険性について言及しました。

また5月1日には、「北朝鮮の核ミサイル問題、中国の尖閣領海・領空侵犯問題と、今、『新・元寇』の時代に入ったかに見える。…中略…一番大切なのは日本独自の姿勢であり、決断である。次の参院選は憲法改正が争点の一つとなる予定だが、憲法改正に反対する（自称）平和勢力に対しても、侵略から護ってやるのが国家としての正しい決断である」（幸福実現党刊『北条時宗の霊言』まえがき）と述べました。

国防強化!

消費増税
中止!

生涯現役
社会!

幸福実現党は 3つの挑戦で 日本をもっと 元気にします

近隣国の軍事的脅威、デフレ脱却がままならないなかでの消費増税、高齢化社会の進展に伴い肥大化する社会保障費——。日本を覆う閉塞感を打破するには、新たな国家ビジョン、責任ある政治の確立が求められています。幸福実現党は3つの挑戦で、日本の未来を開きます。

世界最速で進む少子高齢化。
老後の暮らし、大丈夫!?

幸福実現党の挑戦 3

老後もイキイキ! 生涯現役社会

年齢を重ねても健康で、周りの人たちから必要とされ、世の中の役に立ちながら生きていきたい——。そう願う方々のために、幸福実現党は「生涯現役社会」を実現します。

提言① 高齢者の雇用拡大

高齢者雇用を進める企業の税制優遇や、高齢者の起業支援などにより、75歳ぐらいまで健康で生きがいを持って働き続けられる社会を実現します。

せっかく上向きかけた景気。
ここで消費増税、大丈夫!?

幸福実現党の挑戦 2

消費増税中止で もっと強い経済へ

安倍晋三首相が提唱するアベノミクスにより、株高・円安基調が続ぎ、景気が上向いてきています。ただ、ここで消費増税を行うと景気の腰折れを招いてしまいます。

提言① 消費増税中止

デフレ脱却がままならないなか、消費税率を上げると消費が冷え込んで景気が悪くなり、かえって税収は落ち込みます。日本経済の再建に必要なのは、増税ではなく経済成長です。

核開発を急ぐ北朝鮮、尖閣を狙う中国。
日本の安全、大丈夫!?

幸福実現党の挑戦 1

愛しているなら 国を護ろう

幸福実現党は2009年4月の北朝鮮のミサイル発射をきっかけに立党して以来、国難の到来を指摘するともに、国防強化を訴え続けてきました。朝鮮半島有事を見据え、以下を提言します。

提言① 憲法改正

憲法9条を改正します。それまでの間は、憲法解釈の変更で有事への備えを万全にし、隣国の脅威から日本を守ります。

提言② 自衛隊法改正

軍事衝突が起きても、今の法律では、在留邦人を救出するために、自衛隊機を危険地帯に派遣することはできません。幸福実現党は、自衛隊法の改正を行い、在留邦人3万人の救出を可能とします。

提言③ 集団的自衛権の行使容認

日米同盟の下、日本が北朝鮮から攻撃を受けた場合、アメリカは日本のために戦ってくれますが、アメリカが攻撃を受けても日本は何の手出しもできません。そこで集団的自衛権の行使を容認し、日本もアメリカと共同してアジアの平和と安全を守ります。



「3つの挑戦」を打ち出した
やない筆勝党首の
新ポスターができました!

日本
再建

23

『日本の国益——野蛮・中国に勝つための10の論点』（幸福の科学出版）の発刊を記念して、著者の一人である河添恵子氏を招き、幸福実現党講演会が開催されました。講演の一部を2回にわたり紙面掲載します。

ノンフィクション作家

河添恵子氏に聞く

中国の脅威と
日本のこれから①
(全2回)

PROFILE

（かわそえ・けいこ）1963年、千葉県生まれ。名古屋市立女子短期大学卒業。86年より北京外国語学院、87年より遼寧師範大学留学。株式会社ケイ・ユニバーサルプランニング代表取締役。学研の図鑑シリーズのプロデュース&取材・編集・執筆のほか、テレビコメンテーターとしても活躍。著書に『中国人の世界乗り取り計画』『豹変した中国人がアメリカをボロボロにした』（ともに産経新聞出版）などがある。

わけです。

越境汚染の問題、駐在員とその家族の健康を守るためにも、資金と技術の両側面で、日本はこれまで中国に巨額の環境ODAを供与してきました。具体的には、硫黄の成分を減らすための脱硫装置を工場の煙突に設置するなどです。

集金マシンとしての
環境問題

1と小さく、肺に入りやすいのです。1立方メートル当たりの濃度が100マイクログラムを超えた時点で健康被害が出るとされますが、今年1月、北京では300、500、さらには1000を超え、計測機器が壊れた地点もあるといわれています。

しかし、中国の空気の悪さは今に始まったことではありません。友人が北京五輪の前に北京市内にマンションを買ったのですが、二重窓であるにもかかわらず、リビングの白いじゅうたんが半年たらずでグレーに変色してしまいました。中国政府がしきりに「空気が良くなった」と喧伝していた時期の話です。

それにしてもなぜ、中国はここきて大気汚染の問題を積極的に公表しているのでしょうか？

大気汚染のPM2.5という基準

は、大気中に浮遊する直径2.5マイクログラム以下の微粒子のことで、髪の毛の太さの30分の

悪影響を及ぼす電子ゴミの解体や金属の回収をしている人たちが、水俣病のような症状で亡くなっています。

また、砂金採りに水銀を使いますが、そのまま川に流したりすることで、魚も土壌も水銀まみれになっています。地方都市のあるデータには、4割以上の魚に人体に害を及ぼすレベルの水銀が含まれている、と記されています。「がんの村」「死の村」と呼ばれる村が、たくさんあることも公になりました。

日本に流通しているウナギの約6割は中国産です。厚生労働省は中国産ウナギの水銀検査をしています。全体の10%を抜き取り検査しているにすぎず、その安全性は疑わしい限りです。さらに恐ろしいことに、専門家によると、水銀は風に乗って長距離を移動するといえます。

このように、中国の環境汚染は日本にとって対岸の火事ではありません。だからといって我々の血税を環境ODAとしてさらに中国につき込んだところで、モラルがなければ砂漠にジョウロで水を撒くようなもの。中国は今や、GDPも日本を超えた金満大国。自力で真摯に環境問題の解決に取り組んでもらいたいところですが、正直まったく期待はしていません。

水銀汚染も
深刻な状況に

大気汚染のみならず、中国では水銀による環境汚染や健康被害も深刻です。

中国は「世界の電子ゴミの終着駅」と化しましたが、何の知識もないまま、水銀など人体に



好評発売中
1,680円（税込）
発刊／幸福の科学出版

大川隆法 最新刊

北条時宗の霊言
新・元寇にどう立ち向かうか

中国の領空・領海侵犯、北朝鮮の核ミサイル…
鎌倉時代、元寇に立ち向かい、
この国を守り抜いた北条時宗が緊急アドバイス！

1,470円(税込)



<http://www.irhpress.co.jp/> ☎0120-73-7707

緊迫の度を強める北朝鮮情勢——。
世界が注視する金正恩の本心を緊急スクープ！

守護霊インタビュー

金正恩の
本心直撃！

幸福の科学出版 発行／幸福実現党 1,470円(税込)